

しちがはま

議会だより

No. 140

令和元年7月10日
宮城県七ヶ浜町議会



ゴールに向かって

特集 来年から通年議会を導入	2
森林環境整備基金条例を制定 議案審議	4
交通弱者へ移動支援を など 6人が一般質問	9
議会報告・懇談会レポート	18

通年議会を導入！ 来年1月から

6月
定例会

町民の声

5月に開催した議会報告・懇談会において以下の声がありました。

- Q 通年議会導入によるメリットは。
A 議員が活発に活動できる。また、議会招集権は町長だが、議長が再開できる。

意見 通年議会の採用で、より活動が活発になり議員のなり手不足にならないのか。報酬の見直しも必要なのでは。



通年議会制度を導入されている先進地を視察し研究している様子(色麻町)

議会活性化に向けたこれまでの取り組み

年月	事項
平成17年6月	議員定数の削減(20人→16人)
平成20年6月	一般質問を「一問一答方式へ」
平成21年6月	夜間議会の開催
平成23年11月	議会報告会の実施
平成26年5月	議会報告・懇談会に改める
平成27年3月	議員定数の削減(16人→14人)
平成29年3月	議会活性化検討特別委員会設置
平成30年7月	広報広聴常任委員会設置
平成31年1月	活性化検討特別委員会内に2つのワーキンググループを編成
令和元年6月	定例会の回数に関する条例や会議規則などを一部改正
令和2年1月	通年議会制度導入(4ページに記載)



代々崎浜地区議会報告懇談会

来年から開催方法が変わるんだね。



6月定例会における委員長報告
議会活性化へ向けた取り組みのひとつとして、東北大学大学院河村和徳准教授を招き、通年議会導入へ向けた勉強会を開催しました。
また、既に通年議会を導入している大和町および色麻町議会を視察し、導入に至るまでの経緯や効果等の説明を受けました。
その後、通年議会導入へ向けた取り組みとして、条例・規則等の整備と、町民への周知および啓発を目的としたワーキンググループをそれぞれ立ち上げ、審議を重ね、再度町民への周知啓発としての講演会を実施し、また、議会報告・懇談会においても理解を深める取り組みを行いました。
本定例会に向けて準備が整い、議員提出議案として提出しました。

通年議会制度を来年1月(令和2年1月)導入が決まりました

6月定例会を6月5日から6日までの会期で開催しました。森林環境整備基金条例の制定や国際村外壁等改修工事、一般会計補正予算など23件の議案等を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。
一般質問は6人の議員が、それぞれ町の対応や考えを問いただしました。

制度導入によるメリット(効果)

- 十分な審査時間が確保され、監視機能、政策立案機能等の議会機能が強化、議会運営の充実・活性化が図られる。
- 専決処分が少なくなる。
- 緊急の案件に迅速に対応できる。自然災害時などの緊急時に迅速に活動できる。
- 委員会活動が充実する。案件の審査をいつでもできるようになる。
- 住民の意見を反映する機会が増える。
- 執行機関が必要に応じて議案を提出できる。

通年議会って何？



地方議会で、会期を約1年として必要に応じて議会や委員会を開けるようにする制度。災害等の非常時に即対応が可能となる等の利点がある。

ひとこと

専決処分とは
本来、議会の議決・決定を経なければならぬ事項を、地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決決定の前に自ら処理することです。



工事契約



工事名：平成30年度向洋中学校トイレ改修工事
契約先：鷹背建設株式会社
金額：9900万円
工期：令和2年1月17日

工事名：平成30年度汐見小学校南棟外壁改修工事
契約先：株式会社木元装建 仙台営業所
金額：3058万円
工期：令和元年12月13日



工事名：平成31年度代ヶ崎浜地区広場整備工事
契約先：重吉興業株式会社
金額：8195万円
工期：令和2年3月19日

工事名：平成31年度七ヶ浜国際村外壁等改修工事
契約先：丸武建設株式会社
金額：1億2650万円
工期：令和3年1月29日



工事名：平成31年度町民プール改修工事
契約先：株式会社木元装建 仙台営業所
金額：5995万円
工期：令和2年1月31日



議員提出議案4件を可決しました

議案審議

議員提出議案

条例制定

条例改正

●議定例会の回数に関する条例の一部改正
●議会の権限に属する軽易な事項の指定
●議定例会規則の一部改正
●議会会議規則の一部改正

内容

通年議会の実施に必要な条例、会議規則を改正するもの。(特集に詳細)

採決の結果(4議案)

反対なく全会致で可決

財産の取得

●住基ネットワークシステム機器式

内容

システムの運用上必要な機器のリースする。

契約額 709万円

契約先 株式会社TKC

納期 令和元年9月30日

採決の結果

反対なく全会致で可決

●森林環境整備基金条例

内容

森林環境譲与税その他森林の整備及びその促進に関する施策のための資金を積み立てるため。

討論

反対 歌川 渡

均等割りの一律課税であり原因者の法人課税がないことは不公平。

賛成 渡邊 淳

国全体で環境整備や二酸化炭素削減の政策に伴うものである。

採決の結果

賛成11

反対2

専決処分(条例改正)

●町税条例等の一部改正

内容

消費税引き上げに伴うもの。

討論

反対 歌川 渡

消費税増税のための改正となつているため。

賛成 佐藤 衛

町税条例の一部改正は適正である。

採決の結果

賛成11

反対2

●国民健康保険条例の一部改正

内容

低所得者への軽減拡充を図るもの。

●都市計画税条例の一部改正

改正

一部改正による文言の整理。

採決の結果(2議案)

反対なく全会致で可決

●原子力発電所の事故による災害被害者に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の一部改正

内容

減免措置を延長し負担軽減を図るもの。

●家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

内容

厚生労働省令の一部改正に伴い、連携要件を緩和するもの。

●放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

内容

支援員の研修で、長の定めるものが新たに加わるもの。

●介護保険条例の一部改正

内容

元号を令和に改め、低所得者の保険料の軽減される規定を定めるもの。

採決の結果(4議案)

反対なく全会致で可決

和解及び損害賠償

●和解及び損害賠償の額を定める条例(一部)

内容

本町ホームページ上で、登録商標を使用したことが、相手方の商標権を侵害したことにあたるとして損害賠償を支払うもの。

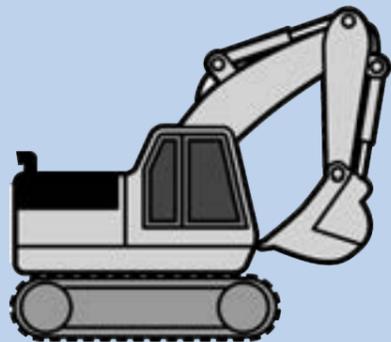
和解相手方

三迫 正廣 氏

賠償額 10万円

採決の結果

反対なく全会致で可決



6月定例会 提出議案採決結果一覧 (6/5~6/6)



6月定例会では、条例改正や契約関係、補正予算等の議案を審議をしました。賛否が分かれた案件を採決一覧表に、全会一致の案件は名称のみ掲載しました。なお、議案名は略して記載しています。

●賛否が分かれた議案等

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	大町 睦夫	岡崎 正憲	歌川 渡	佐藤 梶信	我妻 周悦	鈴木 初雄	遠藤 久和	渡邊 淳	佐藤 衛	安倍 敏彦	佐藤 壮一	熊谷 明美	木村 稔	仁田 秀和	
(専決処分)町税条例等の一部改正	4	11	2	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
森林環境整備基金条例の制定	4	11	2	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度一般会計補正予算(第1号)	6	11	2	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書	6	2	11	不採択	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 議長(大町睦夫)は採決に加わらない。

●全会一致の議案等

条例制定・改正	掲載ページ	契約関係ほか	掲載ページ
○(専決処分)国民健康保険税条例の一部改正	4	○工事契約「平成30年度汐見小学校南棟外壁改修工事」	5
○(専決処分)都市計画税条例の一部改正	4	○工事契約「平成30年度向洋中学校トイレ改修工事」	5
○介護保険条例の一部改正	4	○工事契約「平成31年度七ヶ浜国際村外壁改修工事」	5
○原発事故による被害者に対する国保税及び介護保険料の減免に関する条例の一部改正	4	○工事契約「平成31年度代々崎浜地区広場整備工事」	5
○家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	4	○工事契約「平成31年度町民プール改修工事」	5
○放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	4	○財産の取得「住基ネットワークシステム機器一式」	4
○和解及び損害賠償の額を定める議案	4		
○(議員提出)議会定例会の回数に関する条例の一部改正	4		
○(議員提出)地方自治法に規定する議会の権限に属する軽易な事項の指定	4		
○(議員提出)議会定例会規則の一部改正	4		
○(議員提出)議会会議規則の一部改正	4		

補正予算	掲載ページ
○令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	-
○令和元年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	-

討論

賛成 木村 稔
 どのような景気対策が盛り込まれても、消費税は低所得者ほど負担が重い。税は能力に応じて負担する応能負担が原則である。逆進性を持ち、生計費にもかかる消費税は憲法との整合性がとれない税制であることから、増税中止を求める請願に賛成する。

反対 熊谷 明美
 幼児教育の無償化や介護保険料の軽減などにも充てられ、非課税世帯や子育て世代への支援で、プレミアム付商品券を発行するなどの対応がされている。消費税は全国民が一律に納める税制度であることから反対する。

採決の結果
 賛成 2 反対 11
 反対多数により不採択

補正予算

10月から幼児教育・保育無償化に

令和元年度一般会計補正予算(第1号)は、歳入歳出にそれぞれ2億1111万円を追加し、歳入歳出の総額を76億1111万円としました。歳出の主なものは、七ヶ浜国際村外壁等改修工事や子ども・子育て支援給付事業などです。審議の結果、本議案は原案のとおり可決しました。

質疑

子ども・子育て支援給付事業 (3554万円)
問 幼児教育・保育無償化事業の内容は、10月から幼児教育・保育の一部が無償化になる。該当条件

答 〇3歳から5歳の保育所・認定こども園・幼稚園の教育費
 〇0歳から2歳の児童の住民非課税世帯保育費
 〇就労一時保育・預かり保育・児童発達支援利用者

プレミアム付商品券事業 (4820万円)
問 対象者が子育て世帯と低所得者となっているが、対象者への周知方法は。

答 地域福祉課長 7月に個別通知をする。制度全般は町広報7月号に概要を掲載する。

討論

被災地域交流拠点施設整備事業 (1000万円)
問 地元住民の要望は十分に反映されているのか。改修の具体的な内容と予定工期は。

答 生涯学習課長 地区から要望があり、多目的トイレやエアコン工事、キッチン、玄関スロープ、ステージを撤去し収容人数を増やすのが主な内容である。地区での発注であり、工期は年内完成を予定しているが今後協議していきたい。



改修される亦楽公民分館

採決の結果
 賛成 11 反対 2
 賛成多数で可決

	おもな内容	補正額
歳入	子ども・子育て支援臨時交付金	2273万円
	国庫支出金	7278万円
	県支出金	2373万円
	町債	7710万円
歳出	七ヶ浜国際村運営費	8567万円
	プレミアム付商品券事業	4820万円
	子ども・子育て支援等給付事業	3354万円
	被災地域交流拠点施設整備事業(亦楽)	1000万円

請願の審議

3月定例会で、総務産業常任委員会へ付託した請願は、委員会と本会議の審議で不採択となりました。

国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書

内容
 消費税は、所得の少ない人ほど負担が重く、貧困と格差を拡大する根本的な欠陥を持つ税制である。住民の暮らし、地域経済、地方自治体に深刻な打撃を与える消費税の増税中止を求める請願。

請願者 塩釜民主商工会
 会長 太田政興
 塩釜地域社会保障推進協議会
 代表幹事 内藤 孝
 代表幹事 佐藤 司
 代表幹事 虎川 太郎
 代表幹事 東海林 昌俊



くまがい あけみ
熊谷 明美

交通弱者へ移動手段の支援を

町長 持続可能な公共交通の在り方を検討したい

問 高齢社会・人口減少社会に突入している。昨今、生活交通の問題は通院や買い物など日常生活をするうえで大きな関心事である。交通の充実、住みやすさや暮らしやすさに直結している。核家族化が進み、単身世帯や高齢世帯が増加する本町において、公共交通機関の利用が困難な方への交通支援の考えは。

答 町長 本町の公共交通機関は、町民バスぐるりんこや多賀城東部線ユーアイバス、ミヤコー汐見台団地線である。本町は、国が示しているバス利用圏300メートルをほぼカバーしており、その基準から考えると交通空白地帯がない環境である。

問 バス停まで行くのが困難と感じている方が実際にいる。本町は交通空白地帯がない環境にあると考えず、必要としている方への支援策を考へるべきではないか。

答 交通支援策は経費面を考へるとすぐには取り組めないが、全国の利用状況やアイデア等を含め検討している。規制緩和も機会があれば話していきたい。

問 下肢の不自由な方や移動困難な内科的疾患を持つている方、妊産婦などで、車を持たず通院を家族や身内に頼ることができない生活環境に置かれていてる方を対象に、利用登録と事前予約制のデマンドタクシーを導入する考へはないか。

答 ぐるりんこの日中便は地域をきめ細かく巡回している。町内はフリー乗降ができ、通院においても可能な限り配慮した運行体制になっている。ドアツードアのデマンドタクシーは、町内にタクシー事業者もあり慎重に考へるべきである。

問 ぐるりんこの停留所まで歩いて行くことが困難な対象者にタクシー移動支援として、初乗り運賃を補助する考へはないか。

答 移動支援に対する拡充の予定はない。

問 身体障害者1・2級や療育手帳A、精神障害者保険福祉手帳1・2級の交付を受けている方は福祉タクシー券助成の対象になっている。手帳交付外の方など対象枠を拡充する考へはないか。

答 福祉タクシー券の助成は町独自の移動支援制度である。町の財源による実施であり、国や県の補助も見当たらないため拡充の考へはない。



バス停まで歩くのが大変な人がいます



ぐるりんこ以外の第2の交通手段は



ズバリ

町政を問う

一般質問一覧表

6月定例会の一般質問は、5日と6日に行い、6人が活発な議論を展開しました。内容は質問者の原稿を原文に近い形で9ページから14ページに掲載しています。なお、タイトルは通告のとおりです。

熊谷 明美 9ページ

- 交通弱者へ移動支援を

遠藤 久和 10ページ

- ショッピングリハビリについて
- 七中グラウンド施設改修について

佐藤 衛 11ページ

- プラスチックごみ等への対策について

渡邊 淳 12ページ

- 農地復旧後の未耕作地対策の方向性は
- 後見制度の普及策について
- 地球温暖化防止実行計画の今後について

歌川 渡 13ページ

- 重油流出事故によるノリ養殖事業者の全額補償の取り組みと再発防止対策について
- 災害援護資金の返済に柔軟な対応を
- 高齢者等世帯の玄関、階段の手すり設置費用助成を

木村 稔 14ページ

- パークゴルフを通じた交流で健康増進と生きがい作りの町おこしを
- 初期消火の重要性を意識した一般住宅への消火器の普及率向上策とそれに伴う本町の支援の在り方について

※傍聴される方には、一般質問の要旨が記載されている資料を配布しています。



えんどう ひさかず
遠藤 久和

ショッピングバッグリハビリで 相乗効果を 実現への可能性を調査していく



ショッピングで
健康増進、気分転換



いつだってフルスイング!

七中グラウンドの 環境整備を

町長 前向き、迅速に対応する

問 部活動の父兄や関係者から七ヶ浜中学校グラウンドの施設改修の要望がある。5月12日の地区対抗野球大会で、試合中にファウルフライがバックネットや二塁側ネットを超え、走行車両や駐車車両に当たるなど安全面での改修の必要性を確認した。生徒が安全に活動できる環境整備のためにも、以下の改修の考えはないか。

答 町長 岩沼市では平成28年から1人400円の参加料、会員2000人と増えているそうなので調査してみたい。

問 バックネットが低すぎる。下部のブロックの跳ね返りが危ない。ホームヘースとの距離が近すぎる。
②三塁側ネットのかさ上げとバックネットとの隙間の処理。
③バックネット裏の駐車場のフェンスのかさ上げ

答 教育長 地区対抗野球大会は大人の大会で、中学生のパワーとは違い、何度もネットを超えていた話は聞いている。

問 平成29年、本町にて買い物弱者対策事業として実証実験が行われた。自宅と店舗間の送迎を行ったもので、目的は高齢者及び生活弱者の安否確認や支え合いのコミニティづくり、地域包括システムの視点での介護予防等であり、参加者の多くが好評という結果報告であった。鳥根県奥出雲町では介護事業所や商業施設、自治体との連携によるショッピングリハビリが平成27年より実施されている。山形県天童市では、介護保険で要支援と認定された高齢者を対象に自治体として全国に先駆けて取り組んでいる。スタッフの見守りの中、買い物という日常行動がリハビリや認知予防運動免許返納者への買い物支援対策、引きこもり

予防に対し大きな効果が期待されている。高齢化が進む本町でも多くの方々から買い物支援対策の要望があった。対象を町内店舗のみではなく広域な視点で事業化を図る考えはないか。

答 町長 代ヶ崎浜地区の実証実験において課題は、費用負担やサポートの存在である。天童市との諸条件は違うが実現の可能性を探っていきたい。

問 町として必要性は認めているのだろうか、やはり経費面は大きいのであろう。買い物無料バスが1日4便運航している。これらの活用も検討してはどうか。

答 健康増進課長 高齢者のみだけではなく、町民全体としてできる施策を調べていきたい。

早急に海洋汚染対策を

町長 地元漁協や 県漁協にも要請したい



さと まもる
佐藤 正徳

問 環境省は5月20日、国内で産業廃棄物として排出されたプラスチックごみを、市町村の焼却施設などで積極的に受け入れるよう要請している。町長の考えは。

答 町長 緊急避難措置として必要な間、受け入れ処理を積極的に検討するよう示された。焼却施設は、宮城東部衛生処理組合(東部衛生)が管理運営している。国、県の動向を見ながら取り組むたい。

問 海洋に不法投棄されないためにも、余力の40トンを活用する考えはないか。

答 環境生活課長 環境省からの要請があるので、東部衛生の管理者等会議で協議される。

問 ごみ減量やリサイクル対策と、環境美化推進委員体制の充実を考えると、

指導助言や粗大ごみ処理など大変な労力であり、本当に頭がさがる思いである。費用的な要望等はないが、会う機会があるので聞いてみたい。

問 政府は5月31日の関係閣僚会議で、深刻な環境汚染を招くプラスチックごみの海洋流入を減らすための行動計画をまとめ、国内のプラスチックごみ大幅削減を目指す「プラスチック資源循環戦略」と海洋漂着ごみ対策の新たな基本方針を正式決定した。

問 町内の海岸や砂浜にベツボトルや発泡スチロール、ビン、缶のほかに、ビートルテープやロープの切れ端が大量に漂着している。漁具の適正処理が進んでいないのが原因と考えられる。どう対応するのか。

答 漁具のロープの切れ端や網の切れ端が多いのは承知している。切れ端が劣化しボロボロになると、海洋環境に悪い影響が出ると思っている。

またマイクロプラスチックが海に溶け込んで、食物連鎖で人体への影響が心配される。大きな問題であると思っている。身近なところとして、地元漁協や県漁協に要請したい。

問 東部衛生の焼却施設の能力と、現在の処理量における余力は。

答 焼却施設の能力は1日180トンであり、日常の排出量は約140トンであり、余力は40トン程度である。

問 環境美化推進委員の方々は、土曜日も日曜日も、朝から晩まで一生懸命活動している。町長の評価は。

答 推進委員が安全で安心して活動できるように配慮し、研修会や情報交換を通じて充実を図っている。また、ごみ分別の

問 環境美化推進委員の方々は、土曜日も日曜日も、朝から晩まで一生懸命活動している。町長の評価は。

答 推進委員が安全で安心して活動できるように配慮し、研修会や情報交換を通じて充実を図っている。また、ごみ分別の



漂着物が多い砂浜



あつし 渡 わたなべ

畑作地活用の促進策は

町長 営農希望団体があれば 中間管理機構を活用したい

問 本町の農業振興地域として指定されている畑作農地面積に対し耕作されている畑地面積はいくらか。

答 町長 農業地域に指定された畑地面積は約60畝。現在の耕作面積は32畝(平成30年12月現在)。

問 水田以外の農地はいまだに裸地や雑草が生い茂る農地が目につく。工事の方法もガラの混じる土が使われ、畑地に変えるにはかなりの労力が必要と思われる。この現状を踏まえ現在予想される畑作の担い手の数は充分か。

答 耕作放棄地の現状から充分とは思っていない。

問 充分でなければ地域の農地を任せられる方の掘り起こしと理解を得るための策が必要と考えるが町の考えは。

答 農業委員会でも新規参入や農地の有効利用を図るため、畑地の貸し借りをする下限面積を10アールから5アールと下げ、貸し借りしやすくしている。

問 農水省が進めている「人・農地プラン」では新規就労者や企業の参入も促している。現状ではすぐに畑地になるとは思えないが、参入促進の売りは何か。

答 稲作を中心とした事業は実施しているが、畑地としてのまとまった土地がなく、参入促進の売りにできる状態はなくアピールも難しい。新規就労や企業参入の相談は

問 農地中間管理機構を活用してはどうか。

答 産業課長 企業にPRできるまとまった土地は少ない。企業から七ヶ浜での営農の希望があつてはじめて中間管理

成年後見制度の普及策は

町長 さまざまな機会でも周知する

問 他人の財産を当人の権利を守りながら他人が処理する時代になってきた。成年後見制度の普及策は。

答 町長 認知症や知的障害、精神障害などで判断能力の不十分な方を保護支援するため、家庭裁判所から選任された成年後見人が本人を代理して財産管理や契約の締結などを行う制度である。地域包括支援センターが

問 成年後見制度を活用するスイッチがどこで入るかがはつきりしない。行政と本人の近隣特に区の役員の方や社協、民生員が成年後見制度のスイッチを入れるような

答 健康増進課長 仕組みが必要と思われるが行政としての考えは。きが複雑で利用されにくい面もあるが、ケアマネージャーや地域包括支援センターで支援する。さまざまな機会をこらえて周知していきたい。

※他にもこんな質問もしました。
「地球温暖化防止実行計画の今後について」

重油流出事故によるハ/養殖事業者の 全額補償と再発防止対策は

町長 双方の弁護士が対応しており 今後の動向を注視したい



わたる 川 うたがわ

問 県は、初動対応に問題があつたことを認めたと、町やノリ養殖事業者、漁協への謝罪等はあつたのか。

答 町長 今のところ、ないと聞いている。

問 港湾管理者の県が港湾内事故による被害者の救済に尽力することを求める考えは。

答 双方の弁護士が対応している。今後の動向を見たい。

問 全額補償の取り組みとして「仙台塩釜港仙台港区沿岸漁業安定化基金」が活用できるよう、県に求める考えは。

答 「仙台塩釜港仙台港区沿岸漁業振興事業補助金要綱」に、原因者不明の被害に係る損害とあ

るのを現状に合わせて変更してもらう必要があるが、今後の動向を見たい。

問 被害補償額上限を超えた被害額の町の対応は。

答 双方が交渉中であり、補償結果が出てからと考えている。

問 再発防止対策として、県は検討会を設けた。今回の事故を踏まえた港湾内のルールづくりにより養殖事業者等が参加しているのか。町として参加を求めているのか。

答 県庁部内での連絡体制の再確認が目的。海上保安部以外の要請はないと聞いている。

災害援護資金の返済に柔軟な対応を

町長 個別対応と生活状況は把握している

問 昨年からの災害援護資金の返済が始まつている。返済者の生活状況の変化に伴い、計画どおりに返済できない返済困難者からの相談を受け、町の対応で分割返済金を減額することができた。他に返済困難者がいるこ

答 町長 半年償還を毎月償還にするなど対応している。個別の相談対応と個々の生活状況も把握している。

高齢者等世帯の玄関や階段等の手すり設置へ費用助成を

町長 現時点で実施の考えはない

問 近年の住宅には玄関や階段等に手すりが設置されている。介護保険制度を利用していない高齢者の世帯で手すりが設置されていない住宅も

答 町長 手すり等が必要ならば介護認定審査をお願いしたい。現在、実施の考えはない。今後、情報収集と把握に努めていきたい。

設置されている。居宅での転倒防止策として手すりの設置を希望する世帯に対し費用助成の考えは。

クイズに寄せられた 皆さんからのコメント

平成30年7月から令和元年5月にいただいた内容を一部紹介します。



きむらみ のる
木村 稔

一般住宅の消火器普及へ 町独自の補助金を 町長 現段階では考えていない

問 本町の火災件数の推移状況と被害状況は、平成26年度から30年度の5年間の火災状況を見ると19件の火災が発生しており、その内、建物火災は11件発生している。

答 町長 平成26年度から30年度の5年間の火災状況を見ると19件の火災が発生しており、その内、建物火災は11件発生している。

問 現在、設置義務がない一般住宅の消火器の所有率を本町では把握しているのか。また、把握していない場合は一般住宅の消火器普及率に対してどのような認識を持っているのか。

答 法的な設置義務がないことから、消火器の所有率の把握はしていない。しかし、各地区での防災訓練等で消火器の使用方法などの啓発活動を通して徐々に普及しているものと考えている。

問 一般住宅に消火器を普及させるため、購入時や交換時、廃棄時等に、町独自の一部補助金制度を設ける考えは、現段階では、消火器購入等への補助金制度は考えていない。

問 松ヶ浜や吉田浜町営住宅には消火器が設置されていない。事業主体である町で設置する考えはないか。

答 住宅に関する消火器設置は、消防法で延べ床面積150㎡以上の共同住宅は設置義務があり、防火対象物と規定されている。松ヶ浜や吉田浜町営住宅は、施行令に規定されている共同住宅には該当しないため設置は考えていない。

問 町に消防署から一般住宅の消火器普及向上の指導があるのにも関わらず、消火器の設置義務がないので関係ないという考えであれば、地域住民も関係ないと思うのは当然ではないか。

答 本町が高い防火意識を示す指標となつて、一般住宅の消火器設置の普及につながるように、町の設置義務のない長屋タイプの町営住宅にも消火器を設置し、全町民の見本となるべきではないか。

答 建設課長 現在、既に設置されている方もいるため、町での設置は考えていない。

パークゴルフで 生きがいづくりや健康増進を

町長 既存の施設を有効に活用すべきである

問 本町として世代を超えたパークゴルフでの地域間交流は、高齢者の生きがいや健康増進等につながるかと考えるが、

答 町長 グラウンドやサッカースタジアムを利用したグラウンドゴルフ、野外活動センターでのパターゴルフ場等がある。高齢者の健康増進や筋力維持、さらには多くの仲間との交流は生きがいづくりに大いにつな

がるものと考えている。まずは既存の施設を有効活用すべきと考える。

医療と子育て

● 今回の議会の中でネウボラという言葉が初めて聞き勉強になりました。(68歳女性)

● ガン患者への、ウィック助成金2万円は、非常に助かると思います！さすが女性目線ならではのご意見ありがとうございます。(61歳女性)

● 少子化や、子育てしやすい環境を考えてほしい。(71歳女性)

安全安心

● 震災後、外灯をともしている家が、少なくなつて暗いなど感じております。街灯を増やしていただきたいと願います。(68歳女性)

● 菖蒲田浜漁港の近くの者ですが、きれいに立派な散歩コースができました。漁港のほうには街灯がありませんが、公園下の夜の道路は暗く、街灯があつたらなと思う事もあります。すけいがかがなものでしょうか？これからは日が長くなりますが短い時は淋しいコースです。(75歳女性)

少子高齢化

● 年金だけで生活している方の国保の保険料金・下水道使用料金の見直し。(59歳女性)

● 息子の時代になつたら後継者がいないので心配です。(62歳女性)

公共施設

● 震災後、菖蒲田のメイン通りにコンビニがなく、少し不便を感じます。海水浴場も再開し、必要が増えると思うので、またコンビニができるように少しでも話をして頂けたら嬉しいですよ。(38歳女性)

● 菖蒲田浜の横に駐車場などがつくられました。また、前回のような震災が来た場合大丈夫なのでしょうか？(14歳女性)

● 議会だよりの中で、アクアリーナの町民以外の年会費と利用料金の引き下げ等ですが、1回210円は安いですが、引き下げなくてもいいです。それに高齢者の年会費等免除しなくていい。ちなみに近隣の町では、年会費や月会費をしっかりと徴収しています。アクアリーナは施設が古くなつてきているし、維持費がかさむし、負担するのは当然だからやむを得ないのでは？

● アクアリーナの駐車場が、とても便利になりました。適に利用させていただいてます。ありがとうございます。(61歳女性)



止めやすくなった駐車場

議会への意見他

● 中学3年生ですが、まだ町内議会がよくわかりません。毎日が、あつ、あつ、受験生。(14歳女性)

● 見えないところでいっしょうけんめいに働いてくれてありがとうございます。これからも私たちのためにがんばってください。おつえんしています。(12歳男性)

議会報告懇談会を各地区で年2回開催しています。お待ちしておりますので、ぜひご参加ください。



元気に育ってほしい
(親子スマイルフェスタにて)

委員会レポート

これも議会の仕事です

総務業 総産

本町で昨年6月から取り組んだブランド化の現状を担当課から説明を受けました。ルバーブは西洋野菜で1890年明治23年頃に日本で最初に本町の高山外国人避暑地での栽培が始まったと言われています。

町ではキックオフイベント、栽培講習会を開催しています。さらに町内では商品化も進みケーキやジャム、ゼリー、ソース、和食などで販売されています。しかし、ルバーブの栽培は種子から収穫まで約2年かかるこのこと。また、栽培者も少なく(現在約200株作付け)出荷量も少ないようです。収穫時期が6月から11月と限定されているため、商品提供ができない店もあります。

総務産業常任委員会 地場産品 ブランド化の 現状について

ブランド化を進める上で年間を通して商品提供販売していくには「生」での保存方法や加工品の推進、作付け面積の拡充が求められます。さらに町内外に七ヶ浜のルバーブをアピールし消費拡大へと展開して行く事と、今後の推移を見て行く事にして調査を終了しました。



もうじきルバーブの収穫です

教育生 教民

教育民生常任委員会

介護予防事業について

②アクアリーナは、現在の施設利用状況を考慮しながら、介護予防事業としての施設活用は可能であると考えられます。以上の調査結果となりました。



施設の活用は

昨年の9月定例会以後の所管事務調査「介護予防事業について」の調査が終了しました。委員会活動の経過と主な内容は次のとおりです。第2回委員会は、健康増進課長より介護予防事業の現状と課題の説明を受けました。第3回は、介護予防教室事業の楽楽元気クラスを視察し体験しました。第5回は、山形県上山市の介護予防事業と天童市の介護予防センター「歩くつるかめ」を視察しました。第7回は、病院内にある運動療法施設「メディカルフィットネス」を視察し体験しました。第8回は、介護予防事業との連携を深めるため、アクアゆめクラブとグランスポールを視察しました。

震災復興

最終報告

平成27年に新たな議員構成となった中で、第3次となる特別委員会が設置され現在に至っておりますが、本年9月で議員任期満了を迎えるにあたり活動の最終報告をするものです。

①活動経過

震災復興計画に沿った復旧・復興が進む状況に関係各課から説明を受け、完成した災害公営住宅や地区避難所、被災市街地復興土地区画整理事業、県の種苗センター等の現地調査を行いました。

②視察対応

宮城県議会大震災復興調査特別委員会を始め、全国の市町議会等からの視察が相次ぎました。いずれの視察も、発災から復旧復興に至る議会の対応や本町の復旧復興・防

東日本大震災復興対策特別委員会

災・町づくりに関するものであり、復興推進課や総務課等の関係課と連携して対応にあたりました。

③全国コンパクトタウン議会サミットの開催

本サミットは、自治体面積15km以下の町(全国64自治体のうち12自治体86人が参加)を対象に、議員が堂に入会し、議員自らの手作りで開催されるものです。

④現状は

テーマは「東日本大震災被災からの復旧復興」とし、分科会での討議や町内の現地視察を行い、参加者からは、備えることの大切さを学んだとの感想が聞かれました。震災復興計画での最終年度を控え事業の姿が見えつつあることから、委員会を終結するものです。



種苗センターを視察



報聴 広広

広報広聴常任委員会

編集のノウハウを引き継ぎます

広聴関係では、第16回となる議会報告・懇談会を5月18日から19日にわたって町内各地で開催しました。概要は18ページに掲載しました。広報関係では、昨年10月に全国町村議会議長会主催の平成29年度全国広報コンクールで奨励賞を獲得した福島県塙町と浅川町を訪れ研修を行いました。

両町とも議会だより編集にあたっては、大胆なレイアウトや簡潔な見出しを採用することで記事を目立たせる効果上げておりました。また、浅川町では毎年のように広報クリニックを受けることで、より読みやすい議会だよりにする努力を行っておりおりました。我々もこのような姿勢を取り入れることが重要であること



編集作業中

町民の声

●高齢者の交通事故が多いので、運転免許証の返納促進と「ぐるりんこ」の増便をお願いしたい。また、タクシーチャケットの配布の考えはないか。

●「ぐるりんこ」の運転手のマナーが悪い。スピードの出すぎや見通しの悪い場所での乗降など、改善を求める。

●ハブターミナルからのヒストン運行で、時間短縮を図るべきである。

こうして欲しい 意見・要望

ここはどうなのか 質疑・応答

油流出事故での被害状況は

問 油流出事故での被害状況は。また、風評被害での海水浴場の影響は。

答 6力所の海底を調査したところ、現時点では特に問題はなごこのことであり、風評被害に対しては県漁協等に対応している。

また、海水浴場は、シーズン前に水質検査などの調査をするという。

第16回

議会報告・懇談会に110人が参加

5月18日(土) 19日(日)

公共施設料金の改正内容は

問 消費税増税により、施設使用料等の改正内容は。

答 消費税5%から8%の改正時、東日本大震災のため5%に据え置きした。今回は、諸物価等を考慮し10%に改正するものです。



汐見台での様子

防潮堤ゲートの管理は

問 県が施工している、防潮堤ゲートの管理はどこでするのか。

答 管理は仙台塩釜港湾事務所である。

通常解放されているものは、Jアラートと連動しており自動閉鎖される。また、通常閉鎖されているゲートは、利用する際の開閉は仙台塩釜港湾事務所と漁協とで協定を結んでいる。

アクアリーナの運営管理は

問 機械や器具の不具合があるというが、定期点検はしているのか。また、指導者の確保と体制は十分なのか。

答 トレーニングマシン等は、毎日、開館前と閉館後に清掃点検している。不具合があれば随時調整や部品交換をしている。また、正規職員11人とアルバイト9人の組み合わせで対応している。

●マイナンバー申請時には、気配りある説明をお願いしたい。特に、写真撮影のサイズや仕上がり時間、郵送後の期間など丁寧に教えてほしい。何度も写真館と役場を往復させるのは気の毒である。

●須賀ノ浜に、マナー遵守事項の看板を設置してほしい。また、防犯灯か街灯を設置してほしい。

●菖蒲田浜地区避難所や遠山地区避難所、花洲浜地区避難所に、不具合が生じているので改修をお願いしたい。

●子育て支援センターを、土曜日や日曜日も開園してほしい。他の市町村での対応を調べてほしい。

●湊浜の弁天様近くの駐車場には、不審者やごみの不法投棄が見られる。緑地体としての整備を求める。

●東京圏からの移住を焦点にしているが、仙台圏からの移住も考えたい。

●町のホームページの内容を読みたくなるような内容にしてほしい。

●児童生徒の登下校時の待ち合わせ場所として、君ヶ岡公園(トイレ南側の三角広場)に時計を設置してほしい。



待ち合わせ場所に時計を

●要書の日本産業北側(信号機の近く)の歩道が途切れている。歩道の整備をお願いしたい。



延長してほしい歩道

議会へ

問 毎回のことであるが、班によって回答されたものや回答されないものがある。是非、全部回答してほしい。開催の意味がないのでは。

答 検討しできるだけ回答したい。

問 特集の「財源」「使いみち」の内訳を、もう少し詳しく説明してほしい。

答 どの程度までの説明が必要か、議会で検討したい。

問 議会だよりに、議会報告・懇談会にでた問題解決の進捗記事を掲載してほしい。

答 議会で検討したい。

問 議員は、質問するとき裏付けをとって質問しているのか。

答 調査し、資料収集をして、質問している。

問 仙台港油流出事故復旧復興対策特別委員会の立ち上げは遅いのではないか。

答 通年議会(令和2年1月より)になれば、緊急時への対応も可能となる。

クイズ？

〈3つの中からから選んでね〉

問1 今定例会で議員提出議案を可決しました。議案数は。

- ① 3件 ② 4件 ③ 5件

問2 令和2年から議会の制度が変わります。何議会でしょうか。

- ① 臨時議会 ② 長期議会 ③ 通年議会

問3 ○歳から5歳の保育所・認定こども園・幼稚園の教育費が無償になります。○に入る数字は。

- ① 1 ② 2 ③ 3

応募方法： はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、
議会へのご意見を書いてお送りください。
(メール可)

正解者の中から抽選で3人の方に図書券を
進呈します。

あて先：〒985-8577 七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1
七ヶ浜町議会事務局 議会だより係
Eメール gikai@shichigahama.com

締切り：令和元年8月15日(当日消印有効)

前号の答え：問1 ③ 問2 ② 問3 ①

当選者：福岡リウ子さん、星知予子さん
藤田真慶さん

議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は9月開会予定ですー

詳しくは議会事務局まで TEL357-7435
または、町ホームページ「町民便利帳」を
ご覧ください。

<http://www.shichigahama.com>

発行責任者	大町 睦夫	遠藤 久和	佐藤 壮一	熊谷 明美	木村 稔	仁田 秀和	佐藤 衛	岡崎 正憲	広報広聴常任委員会
議長									
副委員長									
広報分科会									

◆改選のため、このメンバーでの編集は最後になります。このままでも皆さんの叱咤激励をいただいた読者の皆さまには、心より感謝申し上げます。これからも「しちがはま議会だより」へご指導ご鞭撻いただきますようお願いいたします。

木村 稔

表紙に寄せて

今回の表紙は、令和元年5月25日に行われた松ヶ浜小学校・地区民合同大運動会での一コマです。運動会当日は晴天に恵まれ、青い空が印象に残る清々しい合同運動会となりました。表紙を通じて徒競走の躍動感を感じていただけたら幸いです。また、今回の裏表紙の写真は、見事なプログラム放送で活躍していた堀川煌徠くんインタビューしました。



放送担当

ほりかわ きら
堀川 煌徠くん
(松ヶ浜小5年)

Q 運動会でのプログラム放送は、とっても聴きやすく大変上手でしたね。ずいぶん練習したのでは。

A 家で何回も練習しました。

Q 放送で一番気を付けた点は。

A 笑わないように気を付けました。

Q 堀川くんが参加した競技種目は。

A 5年生全員リレーや地区応援合戦、地区対抗大縄跳びなど、他にもたくさんの種目に参加しました。

Q 将来の夢は何ですか。

A ゲームが大好きなのでプログラマーです。

編集後記

